

2022 SUPER FORMULA Team Report

2022.3.24

富士公式テスト（3月22日～23日）

53号車の佐藤蓮は、セッション3でトップと同タイムを記録し2番手に 55号車の三宅淳詞、SFマシンでの富士初走行を終え手ごたえをつかむ

TEAM GOH は、3月22日(火)～23日(水)の2日間、開幕戦と同じ開催地となる富士スピードウェイで開催された今季2回目の公式テストに参加しました。



朝から冷たい雨のテスト初日、53号車は走行を見送り、55号車はセッション1スタートとともにコースインしましたが、コンディションは厳しくなる一方で、やがて雨はみぞれにかわったため、6周回でピットに戻ることに。その後降雪のために午後のセッション2が中止となったため、テスト初日はほぼピットワークの練習に費やすことになりました。

2日目は前日とはうってかわって晴天に恵まれた富士スピードウェイ。気温0℃、穏やかな風の中、9時50分にドライコンディションでセッション3がスタート。

53号車、55号車ともに予選向けのショートランメニューを順調にこなし、佐藤蓮はセッション終了間際の最終周回に、ニュータイヤでのアタックでトップと同タイムの1分21秒815を記録し、2番手につけました。（同タイムの場合、タイムを出した時間順）

午後のセッション4では両車ともに、ロングランのセットアップメニューからスタート。午前中のショートで課題をみつけたという三宅淳詞は、トップグループに対して遜色ないペースの走りを見せ、開幕に向けて大きな手ごたえをつかみました。

最終的に、富士公式テストの総合タイム結果は、53号車の佐藤蓮が1分21秒803で15番手、55号車三宅淳詞が1分21秒799で14番手でした。



TEAM GOH は、今回のテストで収集したデータの分析を進め、また、チームミーティングをかさねて個々のスタッフがそれぞれのポジションでベストの仕事をし、全体のパフォーマンスをあげられるよう、さらに細部にわたる準備を進めて開幕に備えます。

◆チーム監督 山本雅史 のコメント

53号車は、今日2日目は午前中にショートでセットアップを煮詰めて、最終的にはショートランでトップと同タイムを記録でき、とても有意義だったと思います。午後はレースのシミュレーションとロングをやっていたのですが、いくつか課題もみつかりました。最終的にニュータイヤでアタックした時には急激に路面温度が低下し、タイヤの熱入れやグリップで苦労しているうちに、赤旗中断となってしまいましたが、総じてとても充実したテストで、開幕に向けて期待感が増しました。

三宅君の55号車は、午前中セットアップに若干苦労していたところがありましたが、富士で難しいといわれているセクター3を良いタイムで走っていましたので、蓮君の53号車の良いデータとうまくコリレーションとっていければ、と思っています。午後のロングも良いペースで走っていましたので、さらに課題を洗い出して開幕にのぞめれば、良いレースができるのではないかと期待しています。



◆53号車ドライバー 佐藤蓮 のコメント

2日目のセッションでは、午前中にショートランをやって、全体でトップタイムも記録でき、とても好感触でした。午後はレースに向けたロングシミュレーションに取り組みましたが、スタートやピットの練習もし、そこで課題もみつかりましたが、原因もわかったので、開幕までに改善していきたいと思っています。

開幕戦は得意の富士ですし、今日のテストで大きな手応えがあったので、しっかりと結果が出せるレースにしたいと思っています。応援よろしくをお願いします。

◆エンジニア ライアン・ディングル のコメント

初日は走行を見送り、2日目は、午前中は順調にショートランのセットをこなし、蓮選手が速さをみせてくれました。午後はロングランのセットでスタート、途中トラブルもあり、少々時間のロス

もありましたが、その後ショートセットに戻し、午前と同じフィーリングで中古タイヤとしては良いタイムが出せました。ニュータイヤでのアタックについては路面温度が非常に低い中でウォームアップに苦労したのですが、結局途中で赤旗が出てしまい、そのまま終了となってしまいました。

全体としては、鈴鹿のテストアイテムで良かったところの再確認などもでき、レース向けにスタートや、ピットアウト、アウトラップなどの練習もでき、とてもポジティブなテストだったと思っています。

ベースのセットアップはほとんどできていますが、実際のレースとなればさらに細部の調整が必要になりますので、開幕に向けてまだ改良・改善の余地があります。

開幕戦はダブルヘッダーなので、まず予選はできるだけ前に出て、初戦である程度のポイントを取りたいです。そして2戦目ではさらに上を目指せればと思います。



◆55号ドライバー 三宅淳詞 のコメント

初日はコンディションが悪く全然走れず、6周回しましただけが、スピンしないようにと、そればかりに集中して走っていました。2日目は、午前中予選向け一発のアタック練習をして、午後は決勝向けのロングランのメニューをこなしました。昨日走れなかった分、メカニックの方々も短時間にいろいろ尽力してくれて、さまざまなシミュレーションなどに取り組めました。そこで、まだまだ自分に取り組まなければいけないところも見えましたし、課題がはっきりしました。

SF 車両で初めて走る富士でしたが、ロングランではトップグループの人たちにそれほど大きく離されないタイムで走れましたし、開幕戦は2レースあるので、なんとかトップ争いに絡めるレース展開にしたいです。応援よろしくお願いします。

◆エンジニア 岡島慎太郎 のコメント

初日はセッション3スタートと同時にコースインしたものの、雨でほとんど走れなかったのですが、その分、チームオペレーション、ピットの練習ができたので良かったです。

2日目は持ち込みのセットも含め、パフォーマンスは悪くなさそうだったので、テストアイテムをどんどん試して、良いところ、悪いところ、いろいろ出てきましたが、鈴鹿の時に比べると、だいぶ良くなったのかなと思っています。午後はロングランのセットからスタートし、ペースは周りと比べてそんな色なかったのですが、車もドライビングもまだ改善の余地がありますが、パフォーマンスは悪くはなかったと思います。ショートランについては路面温度が低く、難しいコンディションの影響が大きかったと思いますが、車もドライビングも改善の余地があるので、開幕までに分析して改善したいと思います。

ピットのオペレーションについてもシミュレーションしましたが、さらにチームでミーティングをかさねて、開幕ではそれぞれが自分の仕事をしっかりこなして全体のパフォーマンスを上げられるようにしたいと思います。

###